

埼玉労働局発表  
令和6年4月30日(火)

【照会先】  
埼玉労働局労働基準部健康安全課  
課長 川又 裕子  
労働衛生専門官 堀川 道歳  
(電話番号)048-600-6206(内線231)

報道関係者 各位

令和6年度「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」の実施について  
～キャンペーン期間：令和6年5月1日～9月30日～

埼玉労働局（局長 片淵仁文）においては昨年度、労働災害防止団体及び建設業、陸上貨物運送業、警備業の関係事業者団体に熱中症対策の徹底を要請したところ、関係事業場の皆様のご努力により、令和5年の熱中症による労働災害は、休業4日以上  
の死傷災害50人（前年比-6人）、うち死亡災害0人（同-4人）となり、死傷災害、  
死亡災害とも前年比で減少しました（令和6年1月現在の速報値）。

一方で、令和5年に全国で発生した熱中症による労働災害は、休業4日以上  
の死傷災害1,045人、うち死亡災害28人となっており、死傷災害は前年比で大きく増加し、  
過去10年間で2番目に多くなる見込みです（令和6年1月現在の速報値）。

こうした状況を踏まえ、埼玉労働局は、熱中症による労働災害の未然防止を図るため、特に熱中症の発生リスクが高くなる時期を前に、下記のとおり『令和6年度「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」』を展開し、熱中症のリスク低減を呼び掛けてまいります。また、「働く世代の健康づくり推進に向けた包括連携に関する協定」を締結している大塚製薬株式会社大宮支店が主催する、「熱中症対策アンバサダー講座（オンデマンド形式）」の特別協力を行い、正しい知識をもって熱中症対策を行うことができるよう、周知を図ってまいります。

事業者の皆様におかれては、暑さ指数の把握とその活用等による、熱中症予防対策をお願いします。

◆令和6年度「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」の概要

【資料参照】



暑く前に飲む!



チューイカン吉

▶キャンペーン期間：令和6年5月1日～9月30日  
（4月を準備期間、7月を重点取組期間とする。）

▶キャンペーンで提唱する、熱中症リスク低減のための取組：(抜粋)

◎準備期間（4月）における取組：

「暑さ指数の把握の準備」、「緊急時の対応の事前確認と周知」、「作業計画、設備対策、休憩場所の確保の検討」等

◎キャンペーン期間における取組：

「暑さ指数の把握と評価」、「準備期間に検討した対策の実施」、「測定した暑さ指数に応じた対策の徹底」等

◎重点取組期間（7月）における取組：

「暑さ指数の低減効果を再確認し、必要に応じ対策を追加」、「体調不良の者に異常を認めるときは、躊躇することなく救急隊を要請」等

**【資料】**

- 別紙 1 職場における熱中症による労働災害発生状況（令和6年1月現在速報値）
- 別紙 2 令和6年度「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」実施要綱
- 別添 1 令和6年度「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」リーフレット
- 別添 2 「熱中症対策アンバサダー講座（オンデマンド形式）」リーフレット
- 別添 3 「熱中症の応急処置マニュアル」リーフレット

令和 5 年 職場における熱中症による死傷災害の発生状況  
(令和 6 年 1 月 11 日時点速報値)

1 職場における熱中症による死傷者数の状況 (2014～2023 年)

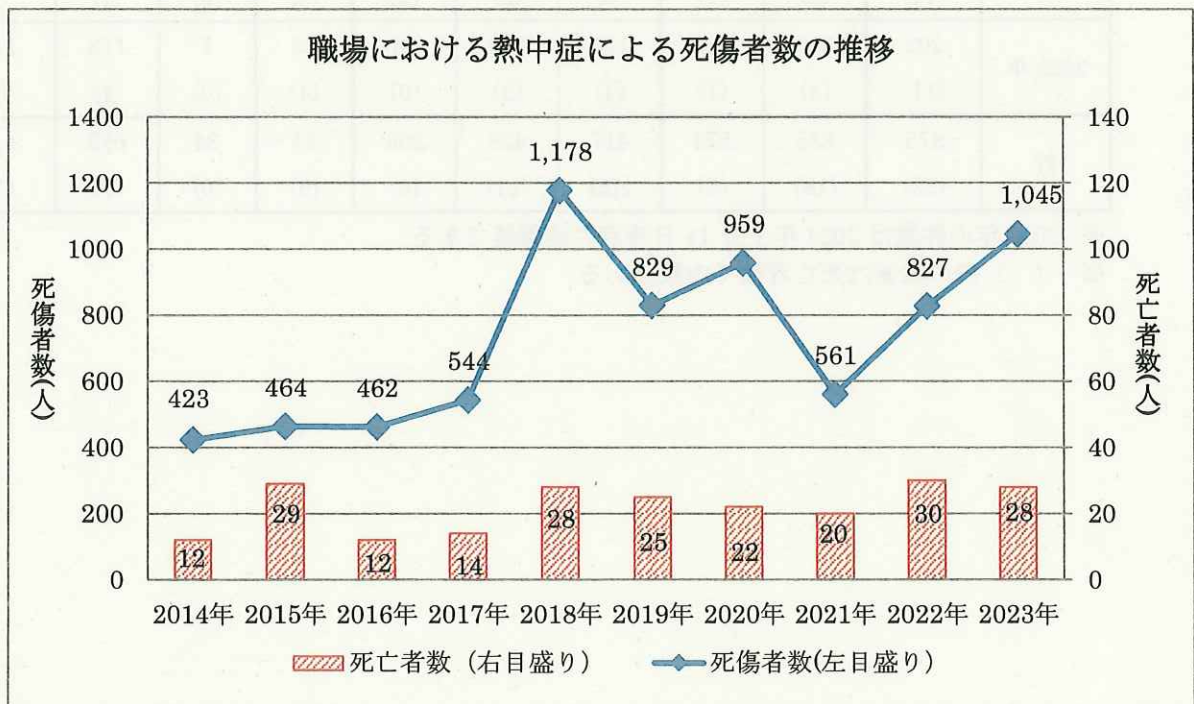
職場での熱中症による死亡者及び休業 4 日以上の業務上疾病者の数 (以下合わせて「死傷者数」という。) は、令和 5 年 (2023 年) に 1,045 人となった。うち死亡者数は 28 人となっている。

職場における熱中症による死傷者数の推移 (2014 年～2023 年) (人)

2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
423 (12)	464 (29)	462 (12)	544 (14)	1,178 (28)	829 (25)	959 (22)	561 (20)	827 (30)	1,045 (28)

※2023 年の件数は 2024 年 1 月 11 日時点の速報値である。

※ ( ) 内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数である。



## 2 業種別発生状況（2019～2023年）

2019年以降の業種別の熱中症の死傷者数をみると、建設業、次いで製造業で多く発生していた。

2023年の死亡災害については、建設業において11件と最も多く発生していた。

熱中症による死傷者数の業種別の状況（2019～2023年）

（人）

業種	建設業	製造業	運送業	警備業	商業	清掃・ と畜業	農業	林業	その他	計
2019年	153 (10)	184 (4)	110 (2)	73 (4)	87 (1)	61 (0)	19 (0)	7 (0)	135 (4)	829 (25)
2020年	215 (7)	199 (6)	137 (0)	82 (1)	78 (2)	61 (4)	14 (1)	7 (0)	166 (1)	959 (22)
2021年	130 (11)	87 (2)	61 (1)	68 (1)	63 (3)	31 (0)	14 (2)	7 (0)	100 (0)	561 (20)
2022年	179 (14)	145 (2)	129 (1)	91 (6)	82 (2)	58 (2)	21 (2)	6 (0)	116 (1)	827 (30)
2023年	202 (11)	220 (4)	137 (1)	103 (4)	118 (3)	55 (0)	25 (4)	7 (0)	178 (1)	1,045 (28)
計	879 (53)	835 (18)	574 (5)	417 (16)	428 (11)	266 (6)	93 (9)	34 (0)	695 (7)	4,221 (125)

※ 2023年の件数は2024年1月11日時点の速報値である。

※ ( ) 内の数値は死亡者数で内数である。

# STOP！熱中症

## クールワークキャンペーン

職場での熱中症により毎年約20人が亡くなり、約800人が4日以上仕事を休んでいます。



労働災害防止キャラクター

チュウイカン吉



キャンペーン  
実施要項

準備

キャンペーン期間

4月

5月

6月

7月

8月

9月

重点取組

### 準備期間（4月）にすべきこと

きちんと実施されているかを確認し、チェックしましょう

<input type="checkbox"/>	労働衛生管理体制の確立	事業場ごとに熱中症予防管理者を選任し熱中症予防の責任体制を確立
<input type="checkbox"/>	暑さ指数の把握の準備	JIS規格に適合した暑さ指数計を準備し、点検
<input type="checkbox"/>	作業計画の策定	暑さ指数に応じた休憩時間の確保、作業中止に関する事項を含めた作業計画を策定
<input type="checkbox"/>	設備対策の検討	暑さ指数低減のため簡易な屋根、通風または冷房設備、散水設備の設置を検討
<input type="checkbox"/>	休憩場所の確保の検討	冷房を備えた休憩場所や涼しい休憩場所の確保を検討
<input type="checkbox"/>	服装の検討	透湿性と通気性の良い服装を準備、送風や送水により身体を冷却する機能をもつ服の着用も検討
<input type="checkbox"/>	緊急時の対応の事前確認	緊急時の対応を確認し、労働者に周知
<input type="checkbox"/>	教育研修の実施	管理者、労働者に対する教育を実施

【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）



# キャンペーン期間（5月～9月）にすべきこと

STEP  
1

## 暑さ指数の把握と評価

- JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を随時把握  
地域を代表する一般的な暑さ指数（環境省）を参考とすることも有効



環境省  
熱中症予防情報  
サイト

STEP  
2

## 測定した暑さ指数に応じて以下の対策を徹底

□ 暑さ指数の低減	準備期間に検討した設備対策を実施
□ 休憩場所の整備	準備期間に検討した休憩場所を設置
□ 服装	準備期間に検討した服装を着用
□ 作業時間の短縮	作業計画に基づき、暑さ指数に応じた休憩、作業中止
□ 暑熱順化への対応	熱に慣らすため、7日以上かけて作業時間の調整 ※新規入職者や休み明け労働者は別途調整することに注意
□ 水分・塩分の摂取	水分と塩分を定期的に摂取（水分等を携行させる等を考慮）
□ プレクーリング	作業開始前や休憩時間中に深部体温を低減
□ 健康診断結果に基づく対応	次の疾病を持った方には医師等の意見を踏まえ配慮 ①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢
□ 日常の健康管理	当日の朝食の未摂取、睡眠不足、前日の多量の飲酒が熱中症の発症に影響を与えることを指導し、作業開始前に確認
□ 作業中の労働者の健康状態の確認	巡視を頻繁に行い声をかける、「バディ」を組ませる等労働者にお互いの健康状態を留意するよう指導
□ 異常時の措置	少しでも本人や周りが異変を感じたら、必ず一旦作業を離れ、病院に搬送する（症状に応じて救急隊を要請）などを措置 ※全身を濡らして送風することなどにより体温を低減 ※一人きりにしない

## 重点取組期間（7月）にすべきこと

- 暑さ指数の低減効果を再確認し、必要に応じ対策を追加
- 暑さ指数に応じた作業の中断等を徹底
- 水分、塩分を積極的に取らせ、その確認を徹底
- 作業開始前の健康状態の確認を徹底、巡視頻度を増加
- 熱中症のリスクが高まっていることを含め教育を実施
- **体調不良の者に異常を認めるときは、躊躇することなく救急隊を要請**

# 熱中症対策アンバサダー<sup>®</sup>講座

本講座は右記団体の協力を得て開催します：埼玉労働局

## 【オンデマンドによる講義】

- 応募開始日：2024年05月13日（月）00:00
- 応募締切日：2024年06月30日（日）23:59
- 定員数：500名様

## 実施内容

お申し込み後、受講番号とオンデマンド講義のURLをメールにてお知らせします。メールのご受信後、2週間以内に講義I・II・トピックス全ての視聴を終えてください。

オンデマンド

## 講義 I 「熱中症について知る」

大塚製薬株式会社

オンデマンド

## 講義 II 「熱中症対策」

大塚製薬株式会社

オンデマンド

## トピックス ① 「熱中症対策の推進のための法制度について ～気候変動適応法の改正～」

環境省

## トピックス ② 「地域における効果的な熱中症対策の取組紹介」

独立行政法人環境再生保全機構

## 確認テスト

熱中症対策アンバサダーの認定には、当講座を受講し、確認テストに合格する必要があります。講義I・II・トピックスの視聴確認がとれましたら、確認テストのご案内をメールにてお知らせいたします。確認テストの有効期限は全動画の視聴完了時間より2週間となります。それまでに確認テストを完了（受講・合格）ください。

## お申し込み方法

下記のURLもしくは二次元コードよりアクセスし、お申込みください。

<https://nccx.otsuka/sem/sam001031>



- 注意事項：・携帯電話のメールアドレスを登録される場合、受信拒否にならないように、no-reply@otsuka.jpからのメールを受信できるように、設定のご確認をお願いします。  
・返信がない場合は、応募が完了していない可能性がありますので、事務局へお問い合わせください。

[no-reply@otsuka.jp](mailto:no-reply@otsuka.jp)（受講証通知・修了証発送通知・問い合わせ返信メール）

## 問い合わせ先

「熱中症対策アンバサダー講座事務局」

URL： <https://opnc.info/hamb>

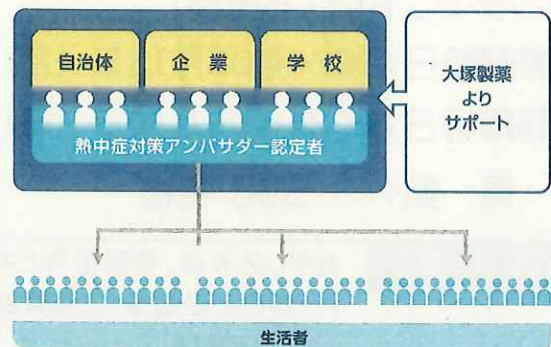
TEL：0120-610-025（通話無料／10～18時受付、無休）

主催：大塚製薬株式会社 特別協力：独立行政法人環境再生保全機構 後援：環境省・文部科学省・農林水産省  
協力：埼玉労働局

# 熱中症対策アンバサダー<sup>®</sup>講座

熱中症の発生を防ぐためには、個々で気を付けていくことはもちろんですが、正しい知識をもって熱中症対策をおこなうことができるよう、多くの方々に呼びかけていくことも必要です。当講座では、熱中症対策の啓発・普及活動をおこなう際に必要な専門的な知識を学んでいただくことができます。当講座を受講し、確認テストに合格され、アンバサダー会員として「登録」された方には、「熱中症対策アンバサダー」として当社が証明する「修了証」を交付します。

## 熱中症対策アンバサダーの活動イメージ



## アンバサダーの活躍フィールドの一例

健康セミナー・地域イベントなど



運動会・スポーツ競技会など



子どもや高齢者への声かけなど



## 「熱中症対策アンバサダー講座」実施概要

### ■ 受講資格

どなたでも受講いただけます。

### ■ 受講料

無料 [修了後の更新は不要(無期限)]

### ■ 提供されるツール



専用スライド (PPT形式)

監修!中京大学 松本孝朗教授  
一般・学校・職場・シニアの4パターンあります。  
※イメージです。



修了証

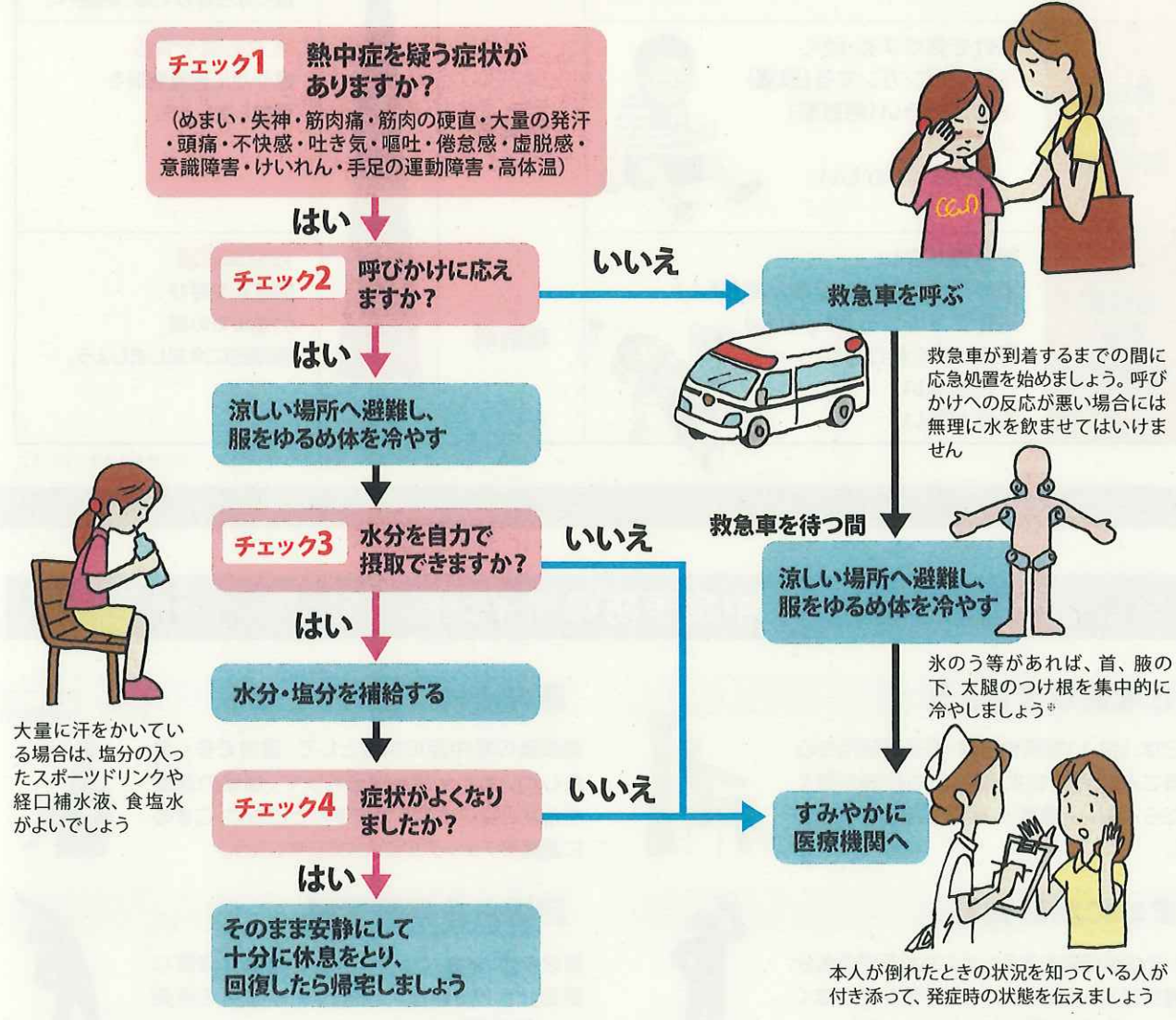
「熱中症対策アンバサダー」は大塚製薬株式会社の登録商標です。



# 熱中症の応急処置マニュアル

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら…。  
落ち着いて、状況を確認して対処しましょう。最初の処置が肝心です。

## 熱中症を疑ったときには何をすべきか

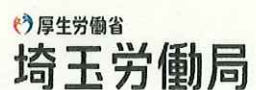


\*スポーツや激しい作業・労働等によって起きる労作性熱中症の場合は、全身を冷たい水に浸す等の冷却法も有効です。 出典:環境省「熱中症環境保健マニュアル2022」




## POINT どこを冷やすのか？

文中やイラストでも示しているように、体表近くに太い静脈がある場所を冷やすのが最も効果的です。なぜならそこは大量の血液がゆっくり体内に戻っていく場所だからです。具体的には、頸部の両側、腋の下、足の付け根の前面(鼠径部)等です。そこに保冷剤や氷枕(なければ自販機で買った冷えたペットボトルやかち割り氷)をタオルでくるんで当て、皮膚を通して静脈血を冷やし、結果として体内を冷やすことができます。冷やした水分を摂らせることは、体内から体を冷やすとともに水分補給にもなり一石二鳥です。また、濡れタオルを体にあて、扇風機やうちわ等で風を当て、水を蒸発させて体を冷やす方法もあります。

出典:環境省「熱中症環境保健マニュアル2022」を改変



# 熱中症の症状

分類	症状	臨床症状からの分類	重症度	対処法(参考)
重症度Ⅰ度(軽症)	<ul style="list-style-type: none"> <li>意識ははっきりしている</li> <li>手足がしびれる</li> <li>めまい・たちくらみがある</li> <li>筋肉のこむら返りがある(痛い)</li> </ul> 	熱失神 熱けいれん	小	<p><b>現場で対処し経過観察</b> 涼しい場所へ避難して服をゆるめ体を冷やし、水分・塩分を補給しましょう。誰かがついて見守り、良くならなければ、病院へ。</p>
重症度Ⅱ度(中等症)	<ul style="list-style-type: none"> <li>吐き気がする・吐く</li> <li>頭がガンガンする(頭痛)</li> <li>体がだるい(倦怠感)</li> <li>意識が何となくおかしい</li> </ul> 	熱疲労		<p><b>医療機関を受診</b> 速やかに医療機関を受診しましょう。</p>
重症度Ⅲ度(重症)	<ul style="list-style-type: none"> <li>意識がない</li> <li>呼びかけに対し返事がおかしい</li> <li>体がびきつる(けいれん)</li> <li>まっすぐ歩けない・走れない</li> <li>体が熱い</li> </ul> 	熱射病	大	<p><b>救急車要請</b> 救急車を呼び、到着までの間、積極的に冷却しましょう。</p>

出典：日本救急医学会熱中症診療ガイドライン2015を参考に大塚製薬で改変

## 熱中症予防のポイント

### 暑さを避けましょう

暑い日は、涼しい服装や日傘・帽子の使用を心がけることが大切です。少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ移動するようにしましょう。



### 室内環境を整えましょう

高齢者の熱中症の特徴として、室内で多く発生していることがあげられます。部屋の温度が上がらないように工夫するとともに、こまめに温度をチェックするようにしましょう。



### こまめに水分補給

汗をかき体温調節をするためにもカラダの水分量の維持はかかせません。のどが渇いていなくても、こまめな水分補給を心がけましょう。



### 日頃から体調管理

普段から「栄養バランスの良い食事」「適度な運動」「十分な睡眠」で規則正しい生活を意識し、体調管理に努めましょう。



### POINT

カラダの水分量を維持するためには、体液に近い成分のイオン飲料がおすすめです。ナトリウムなどのイオン(電解質)を適切な濃度で含んでいるのでカラダに負担をかけず体内に素早く吸収されます。さらに、尿として排出されにくく、水と比べても体内保持率が高いイオン飲料は、長時間カラダを潤し続ける特性があり、水分補給に適しています。

#### 飲料別体内キープ力比較

飲んだ後、2時間座り続けた間、飲んだ量のうちカラダに残った割合。



n=12

出典:Doi T .et al : Aviat Space Environ Med(2004)を改変